

会議録

- 会議の名称 令和4年度第2回座間市環境審議会
- 開催日時 令和4年9月26日(月) 午後3時00分～午後4時50分
- 会議場所 ハーモニーホール座間 中会議室
- 出席者
 - 委員 田中会長、小池副会長、村山委員、藤倉委員、鈴木委員、西委員、西海委員、吉井委員、津田委員
 - 事務局 環境経済部長、環境政策課長、環境政策係長、環境保全係長、資源対策係長、環境政策係員
- 公開の可否 公開 一部公開 非公開
- 傍聴者 2名
- 議題
 - (1) 第2次座間市環境基本計画の素案について
 - (2) 座間市における温室効果ガス排出量の現況と将来推計(暫定値)について

【配布資料】

- ・次第
- ・資料1 第2次座間市環境基本計画(素案)
- ・資料2 座間市における温室効果ガス排出量の現状と将来推計(暫定値)
- ・資料3 第2次座間市環境基本計画(素案)に対する意見書

○議事の概要

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 議題

(1) 第2次座間市環境基本計画の素案について

(2) 座間市における温室効果ガス排出量の現況と将来推計（暫定値）について

- 4 閉会

～事務局から議題（1）について説明～

・田中会長

まず第1章、第2章、続いて第3章、それから第4章以下は分野ごとに、最後、第6章という順番でご審議をお願いしたいと思います。

それでは、まず第1章と第2章ですが、何かこの分野でお気付きのことがありましたら、どうぞ遠慮なくお出しいただきたいと思います。

・藤倉委員

2点ほどあります。1点目は、5ページに環境の範囲という図がありますが、後ろの柱のキーワードがかなり欠落しています。例えば、水と書いてありますが、座間市は豊かな水を一番メインに持っているのです、地下水など、後ろの柱に出てくるようなキーワードをちりばめていただくほうがよいだろうと思います。他には、生物多様性という言葉などです。分かりやすい図であるので、逆にきちんと書き込んでいただきたいというのが1点です。

2点目は第2章ですが、例えば、神奈川県も生物多様性保全計画などを持っているので、生物多様性について、もう少しバランスよく入れてはどうかと思っています。神奈川県は生物多様性が全然ないので、少し触れていただければどうかと思います。

・田中会長

ご指摘は大きく2点でした。5ページの環境の範囲にもう少しキーワードを、特に第4章の辺りのキーワードを踏まえてというコメントです。それから神奈川県動きについてですね、11ページあたりになります。他に、ご意見等がありますか。

・吉井委員

確認ですが、前回までの計画には最初に市長の言葉が入っていますが、今回も市長の言葉が入るということよろしいのですね

・事務局

その通りです。

・吉井委員

まず、前回の基本計画の市長の言葉に、「環境審議会による丁寧な審議」と記載されておりました。今回の基本計画が根本的に違うのは、ゼロカーボンシティ宣言をしたところにあるかと思います。しかも、8年間でこれだけの目標を達成することになります。そうすると、審議会として、もっと専門性の高い委員が構成されてもいいのではないかと感じております。

それから、8ページに、国際的な動向としてSDGsの絵が出ております。もしSDGsの考え方を、この基本計画の中に使うのであれば、座間市の動向の中に書いてもいいのではないかというのが2点目です。

3点目は、座間市の動向ですが、11ページには神奈川県動向がありますが、座間市の動向が記載されておりません。座間市の動向は、2ページの(1)、これまでの取り組みとして記載されております。座間市の動向として、1項目を設けて記載してもいいのではないかと思います。

・田中会長

今、3点いただいたように思うのですが、第1点目ですね。委員のおっしゃりたいのは、審議会の構成をより専門的にしたほうがよいというご意見でしょうか。

・吉井委員

そうです。

・田中会長

分かりました。その点は、どちらかという環境基本計画の素案というよりも、全体的な進め方のことでしょうか。

・吉井委員

そうです。

・田中会長

分かりました。あとはSDGsの関係で市としてどう取り組むのか。あるいは、この計画書の中にどう盛り込むかということをもう少し丁寧に検討してほしいというご指摘ですね。それから、座間市の動向について欠如しているのではないかというのですが、私の理解では12ページからと、その後の分野ごとに座間市の動向が入っていると理解をしています。それとは別に、さらに座間市の動向についてまとめたほうがよいというご指摘でしょうか。

・吉井委員

項目として、座間市の動向としてまとめておいたほうがいいのではないかと思います。その内容は、2ページの(1)の所に記載されているので、その辺の兼ね合いのことを考えた上で、座間市の動向という項目を設けたらいかがかと思いました。

・田中会長

7ページの記載と8ページの記載は違います。7ページは、座間市の現状と課題です。8ページは第2章、環境の現状と課題となっております。「座間市の」という言葉が抜けているのかもしれませんが、いずれにしても、この第2章は、座間市全体のことを小タイトルにしていまして、その中で、座間市のことを直接触れる前に、国、それから県の動向をまとめているという理解でおります。

さて、追加でいかかでしょうか。

・西委員

3ページの上から3行目の文章で、2021年(令和3年)とありますけれど、他の箇所は元号が先になっていまして、グラフなどだと主に西暦になっています。西暦に統一してもいいのではないかと考えています。

・田中会長

分かりました。それは統一を図るようにしたいと思います。他にご指摘はありませんか。それでは、これらのご指摘を踏まえて事務局は整理をお願いします。

続いて、23ページからです。望ましい環境像と施策の体系について、望ましい環境像は審議会としても、特に今後の座間の環境づくりの方向性を整理するというところで重要なことかと思えます。いかがでしょうか。

・吉井委員

27ページですが、1-3のところの具体的施策の3つ目の欄の所に、ESCO事業の実施と記載されております。これらは市の対策実行計画の章の中にも記載されております。今回はゼロカーボンシティを宣言しておりますので、どこに入るのかなといいますが、49ページに表があります。国などと連携して進める対策による削減見込量、という中に、例えば、産業部門の中にFEMSが記載されております。ESCO事業とFEMSというのは非常に密接な関係で、基本的な考え方は一緒です。従いまして、市の基本計画の中にESCO事業が入っているのであれば、6の中にはFEMSを入れてもよいのではと思っております。

・田中会長

分かりました。このESCOについては、58ページに記載があります。ここに、今のご指摘のを入れるという感じでしょうか。

・吉井委員

今、FEMSの話をしてきましたが、家庭ではFEMSでなくHEMSです。建物の中にFEMSを導入するというのは非常に難しいので、それはどうかと思いますが、産業部門の場合はFEMSです。それからビル関係などはBEMSを記載してもいいのかなと思っております。

・田中会長

分かりました。58ページあたりですね。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。主には、24から27ページの間、第3章ですが、いかがでしょうか。

・藤倉委員

第3章の24ページに、豊かな水と緑を みんなで未来へつなぐ 環境にやさしいまち さま、とあってその説明がありますが、イメージとしては、豊かな水と緑が未来にわたってあることを目指そうと言っていると思うのです。言いたいことは、環境にやさしいまちに含まれるであろう地球温暖化対策や循環型社会をつくるのが、水と緑があるまちにつながる、だから環境にやさしいまちをいろいろな面で頑張らないと、豊かな水と緑のあるまちにならないという因果関係が、今、少しばらばらかなという印象を受けました。要は、豊かな水と緑と、環境にやさしいまちの説明が繋がっていないと思うのです。ですので、もう少しストーリー性のある説明があるとよいと感じました。

・田中会長

何かこういう言葉に変えたらよいとか、具体的に提案がありますか。

・藤倉委員

25ページに環境にやさしいまちの説明がありますね。気候変動問題や、プラごみや食品ロスに取り組むことは、豊かな水と緑があふれる座間のまちづくりにとても重要なことです。今、並行して書かれています。というのが私の提案ではありますけど、市民の皆さんが一番分かる表現がいいかなと思います。

・村山委員

環境像の変更の提案でしょうか。それとも、この解説のことでしょうか。

・藤倉委員

解説です。

・村山委員

環境にやさしいまち、をもう少し詳しく提案するということですかね。

・藤倉委員

豊かな水と緑のある座間市をつくるためには、温暖化などにも取り組まなければいけないというところに、もう少し説得性を持たせたほうがいいのではないかという提案です。

・事務局

例えば、「環境にやさしいまちを実現し、豊かな水と緑をみんなで未来につなぐ」ということでしょうか。

・藤倉委員

何が目標かというところにもなるのですが、イメージとしては、このひまわりの写真に代表されるように、豊かな水と緑がおそらく、皆さんの共通イメージだと思うのです。これを維持するためには、循環型社会も、温暖化も、すごく頑張らないといけないということですね。単に自然環境だけ守ればいいのではなく、全部守らないとこうなりません、という説明の仕方にしたらよいのではないのでしょうか。

・田中会長

ご提案の意図は分かりました。25ページの下から3行目、豊かな水と緑、という所ですね。守り、市民が自然の恵みを感じる、それから、限りある資源やエネルギーを大切にすると。いくつかの要素を含めて、持続的な発展という構成になっているのですね。委員のご指摘は、地球環境、あるいは温暖化といったキーワードをこの中に入れたほうがよいのではという提案でもありますか。

・藤倉委員

温暖化を防ぐことが自然環境を保全することにすごく関係しているということをもっと強く出したほうがいいのではないかということです。ごみも然りですね。

・田中会長

水と緑、それから資源循環、廃棄物、温暖化、あるいは自然環境が相互に関係している点ですね。確かに、自然を守ることが温暖化をより改善することになりますし、温暖化を改善すれば、より自然が残りますね。

・藤倉委員

双方向でありますね。

・田中会長

そういう相互関係があるわけです。双方向にあるということをうまく表現してくださいというのが委員のご指摘で、この3行を少し工夫しましょう。他にいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、施策の展開ということで、今度は具体的な施策が6項目並んでおります。特に温暖化のところは、第5章にまた取り出しておまして、これについては、さらに資料2のほうでの詳しく整理をしております。まず、地球環境、自然環境について、具体的には、30ページから34ページまでです。続いて、都市環境、循環型社会、その後、生活環境と環境教育というふうに基本目標1と2、基本目標3と4という流れでご指摘をいただきたいと思えますけど、いかがでしょうか。

・吉井委員

31ページになりますが、柱の1-3の、最後の項目で、先ほども少し申し上げたのですが、市ではESCO事業を実施しています。最近、新しい考えでZEBという概念が出てきております。座間市でもESCO事業に代わるというか、上乘せしたZEBという考え方を率先して市が採用していいのではないかと考えておりますが、いかがでしょうか。

・田中会長

ご指摘のとおりだと思います。ただ、BEMS、ESCO、ZEBなど、キーワードを頭文字で表しているのですが、恐らく一般の方はなかなか何のことか分からないので、説明書きを本文に入れるか、あるいはこの計画書の中に入れたほうがよいかもしれません。委員がご指摘になっているZEBとESCOはどういう関係にあるかということも分かります。他にいかがでしょうか。

・藤倉委員

まず、32ページの自然環境の達成指標で、市民1人当たりの公園面積があり、これは他の指標も一緒ですが、座間市さんも間もなく人口が減っていく中で、人口が減るだけこのぐらい増えませんかという質問です。その辺はどこまで考えた上で、市民1人当たりの数値が出てきているのでしょうか。

もう一つは、33ページの湧水・地下水の保全で、施策が推進と施設の助成しか出てこないのですが、道路とか、舗道とか、公共施設における透水性舗装など、やはり地下水は、座間市さんはとても大事なもので、もう少し保水を上げるようなものがたくさんあっていいのかなという印象を受けたのです。だから、そういうものが市の中の土木部局から施策としては

ないのだろうかと思いました。それと併せて、その進行管理指標の地下水位がGLマイナス17メートルですけど、GLマイナス20メートルでもいいように、要するに、もっと下がってもいいと読めるので、これが、現状維持とか別の表現でなくていいですかという指摘です。

・田中会長

ありがとうございます。1点目は事務局、回答していただけますか。

・事務局

1点目の、市民1人当たり都市公園面積については、確かに人口減に伴って、達成見込みが数値として変わってくるかと思うのですが、その点は都市部に確認をさせていただいて、どういう設定をしているのか、分かり次第ご報告させていただきたいと思います。

地下水位は、最初にあった浸透施設のことですが、舗装の助成も行っているようなので、その辺も記載として追加をさせていただいて、施策としてもっと具体的に記載させていただきたいと思います。

3点目の、GLマイナス21.5メートルまでは大丈夫という所は、市の警戒水位を記載しましたが、そこについても少し検討させていただければと思います。

・藤倉

あと3メートル下がってもいいように見えてしまうので、少し表現を工夫した方がよいと思います。

・事務局

この水位は、地下水総合調査によるものですので、その辺りも考慮し、書き方については検討させていただきたいと思います

・田中会長

今の所もそうですが、進行管理指標に設定しているものは、施策と裏付けがリンクしていることを確認してください。

例えば、33ページに、給食中の地場野菜の使用率とあります。これは、例えば学校給食において地場野菜を普及する、あるいは取り込むような、施策は展開しているのですか。そういう施策を展開した上で、これを指標にするのであれば意味が分かるのです。施策に記載がないものを指標にしても意味がないと思いますので、施策がきちんと位置付けられている、落ちがないということを確認する必要があると思います。他の分野に関しても同じです。

それからもう一つは、進行管理指標、32ページの公園・広場・緑地面積がありますが、ここと、1人当たりの都市公園の公園面積とは、概念が違うという理解でよろしいですか。

都市公園面積は、公園・広場・緑地面積とはまた別途の概念として、それぞれ別の概念であるということですか。

・事務局

達成指標は都市公園のみですけれども、進行管理指標は、緑地面積というように、また別で把握しているものも含むことになるので、定義が変わっております。

・田中会長

そうすると、例えば読んだときに、緑地と公園は何か、あるいは広場は何を指しているか、分かりにくいです。そこも、注釈を付けるなり、説明書きをしておいたほうがよいと思います。広場は、一般に子どもたちが遊んでいる広場がたくさんあると思いますが、どこまでカウントするのか。俗称でいう、住民の皆さんが呼ぶ広場という概念なのか、ちゃんと法律的に位置付けのある広場ということなのか、確認してください。

ここで、私は所用のため退室いたします。これ以降の進行は小池副会長にお願いしたいと思います。

・小池副会長

では、時間も限られていますので、どうしてもというところがあれば伺いたいと思います。37ページから後、4章の中で意見ある方いらっしゃいますでしょうか。

・津田委員

これは座間市さんにお願いなのですが、今、クリハラリスというのが、非常に大和市で大きな問題になっています。恐らく座間市のほうにも来るだろうということです。この34ページの生物多様性の所で、自然保護意識の啓発は非常に大切なのですが、ただ、神奈川県が大和市で経験したことによると、どうしてもクリハラリスは、かわいいということで餌付けをしたり、保護してしまっている人も多くいます。それで多様性が保てないということもあるので、もし可能であれば、相反するのですが、この在来生物と、この有害鳥獣についても啓発ができればお願いしたいなと思っています。

・小池副会長

ということは、動物保護の関係も組み入れてほしいということでしょうか。

・津田委員

それと、あとは有害鳥獣の駆除についての啓発というのも入れていただきたい。

・小池副会長

保護と駆除と両方についてですね。例えば、ここにあるアライグマの記載のところですか。

・津田委員

そうですね。啓発は市民の自然保護に対する意識ですけども、それと同時に、有害鳥獣の駆除についての啓発も必要だろうと思います。そこについての文言が加えられるならお願いしたいです。それが可能であるかどうかというのを、少し検討していただければと思います。

・小池副会長

有害と無害と分けるか分けないかですね。

・津田委員

アライグマとか、クリハラリスとか、いわゆる外来生物として何種か決められているので、ここに有害鳥獣、アライグマ等と書いてありますけど、それについて、そういったものを駆除とは書かないですけど、有害性についての啓発も必要ではないかということです。

・事務局

自然保護意識の啓発の所に加えるべきでしょうか。

・津田委員

そうですね。そこしかないかと思っています。

・事務局

検討させていただきます。

・小池副会長

その他にご意見ございませんか。

全体を通してですが、42ページの進行管理指標とありまして、現状値が2021年度で0回とあるのですが、2021年度はコロナの影響で0回であれば、どこかに、コロナ前の回数を参考に入れないといけないと思います。

・事務局

柱の6-2というのが、今までに無かった事業です。基本目標6、環境教育・学習の所で、今までこちらはなかったのですけれども、今回新規で加えました。というのも、全体として協力してやっていかないと、どうしても温室効果ガスの排出量など、目標をゼロにするですとか、達成できないことが多くありますので、市と市民と事業者が連携してやっていきまし

ようということを加えた事業です。

・小池副会長

これはコロナと関係なく新規事業のため、0回ということですね。

・事務局

その通りです。これからやっつけようとして検討している事業なので、現状は0回ということになります。令和5年度以降に環境部門で検討しまして、年に1回以上やりたいということで、こういった書き方になっております。

・小池副会長

それでは、他の所も押しなべて2021年度になっているので、特別なことがあったら、そこに注意書きと、それからコロナの関係であれば、コロナ前の実績値を添え書きしておいてください。

では、次は第5章、脱炭素について、ご質問ありますか。

なければ、私から1点、47ページの下の方のグラフの所で、吸収量と排出量の色がもう少しはっきり分かるような色分けにしてほしいのと、それから吸収量というのがどこにも書いてないのだけど、色分けで見ると2019年度、2030年、それから2050年の減った分が、吸収量はこれだと思ってしまうのですが、そこら辺の兼ね合いはどのようなのですか。

・事務局

こちらは、46ページの表の中に数値がありまして、吸収量は本当に微々たるものなので、恐らく、棒グラフにすると表せないぐらいのものなので、ここに関して、今度、議題2で、詳しい説明をさせていただきます。

・小池副会長

この吸収量のグラフをこの色にしてしまうと、下の矢印と同じ色なので、そこを少し見直してほしいです。

・事務局

色は分かりにくいので改善させていただきます。

・小池副会長

お願いします。あと、5章で、どなたかご意見ございますか。

ないようでしたら、6章の計画の推進体制と進行管理について、どなたかご意見がある方いらっしゃいますか。吉井委員さん、どうぞ。

・吉井委員

6章に関してですけれども、どのようにしてこれから実行していこうかという問題になってくるかと思います。そこで、本来、計画書ですと目的と目標、それから組織図、計画書、それとマンパワーと資金が記載されているはずですが、この計画書は、計画表、組織図、マンパワー、資金については、一切、記載はございません。その辺はどうなっているのでしょうか。

まず、第1番に組織図を明確に作っておく必要があるのではないかと思います。ゼロカーボンシティ、あるいは環境問題を解決するに当たって、この基本計画の中に市と市民と事業者という三角が記載されております。市の組織は分かったとしても、例えば事業者の組織はどのような組織にするかです。細かい組織図と役割表が必要ではないかと思っています。

それから、計画表ですが、組織図と役割ができますと、その計画表は、もっと詳しい計画表ができるかと思っています。これらはアクションプランニングということを目で分かるような計画表が必要ではないかと思っています。

それから、マンパワーの件ですけれども、ゼロカーボンシティを8年間で完成させようとするわけですね。そのときに、今、中枢が市とは言いながら、実際は市の環境政策の担当の方のみがおやりになっていると思うのです。これだけのプロジェクトを完成させるのに、どれだけのマンパワーが必要であるかということのを推し量っていく必要があるのではないかなと思います。

最後に資金ですけれども、マンパワーと、それから時間と資金がなければ環境問題は解決しないと言われております。ましてや、ゼロカーボンシティを実現するためには非常に様々な問題を抱えております。それを行うためには、どうしても資金が必要になってきます。それもはっきり煮詰めていく必要があるのではないかと思っています。

それから、一般市民として、エネルギーをどう考えていくかという一つの参考例を申し上げます。座間市の生涯学習制度の中で、「あすなろ大学」というのがあります。その中で、「生活の中の環境」というグループを6人で行っており、ここでは、家庭内の電気量について1年間検討しました。その結果が、お金を使わずして電気量が6人の家庭の総合で22パーセント削減できました。今日、ダイジェスト版を持ってきましたので、参考になるかどうか分かりませんが。そんなことを市民レベルでやりましたよという一つの例を申し上げます。

・小池副会長

分かりました。ありがとうございます。吉井委員がおっしゃった管理のようなことで、まず、目標に関しては、第五次総合計画の中にも細かく出てくると思います。それから、推進体制は、70ページの文脈の最後の3行で、座間市環境政策推進会議において云々があり、座間市環境審議会において云々があり、それで計画を推進します、と書いてあるとおりです。

あと、どういう組織を市で作るかということは、公表はあまりしないと思うのです。だから、きちっと組織を作ってやってください、お金も付けてくださいということを吉井委員はおっしゃっていました。それから、全体に関しては、それぞれいろいろなやり方等あると思うのですが、そのやり方を参考にしながら、参考になる所は取り入れて、これから作ってやっていきます。以上です。

議題1、素案については、時間の関係上これで終わりますが、皆さんに資料3の意見書が配られていますので、後日、事務局へ提出してください。

・事務局

意見書については、本日中に皆さま方にメールで書式をお送りいたしますので、そちらを利用していただいても構いませんし、手書きで記載した上で提出いただいても、どちらでも結構です。お願いいたします。

・小池副会長

よろしく申し上げます。

次に議題2について事務局から説明をお願いします。

～事務局から議題（2）について説明～

・小池副会長

ただいまの説明に対して、その内容および資料についてご質問はよろしいですか。

・吉井委員

3ページの円グラフの産業部門の所ですが、ここは、2ページの表によりますと、産業部門が製造業と建築業と農業と書いてありますが、その割合までは分かりますでしょうか。

・受託者

割合は4ページをご覧ください。こちらは説明を割愛させていただいたのですけれども、産業部門の分析となっております、右上の円グラフとなっております。

・小池副会長

よろしいですか。その他に質問はございますか。

・村山委員

9ページの吸収量の現況は、どういうふうな推計をするのでしょうか。

・受託者

森林による吸収量は、現存量など細かい統計データを用いて算定するのですが、そういう細かい資料が手に入らなかったため、今回は国の吸収量を森林面積で按分したものが森林による吸収量となっております。都市公園につきましては、都市公園の面積に吸収量の係数がございますので、こちらを掛けたものとなっております。

・村山委員

それも、最初に紹介した環境省マニュアルというものでしょうか。

・受託者

森林についてはマニュアルに載ってございませんので、国の値を単純に按分したものとなっております。

・村山委員

国がこういうを出しているのですか。

・受託者

国の吸収量を按分しております。

・村山委員

分かりました。

・小池副会長

その他に質問ございますか。なければ、以上で全ての議題が終了いたしました。進行を事務局に渡します。

・事務局

本日いただいた、様々なご意見につきましては、資料を作成させていただきまして、次回の審議会で改めて提案させていただければと思っております。本日、限られた時間ということもありましたので、皆さんに意見書をお配りさせていただいておりますので、もしご意見等がある方には、9月30日までに環境政策課宛てにご提出をいただければと思います。先ほどもアナウンスさせていただきましたけど、これからメールアドレスにデータの送付はさせていただく予定でございますので、よろしく願いいたします。

では、以上をもちまして、令和4年度第2回座間市環境審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。